

.....

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ
2. 体験した事例の名称	大柄で体格の良い傷病者の救急搬送時に、搬送協力者への事故防止の配慮を怠ってしまった事例。
3. 体験した事例の中心的要素	傷病者を倒れている場所（風呂場）から玄関先に用意したメインストレッチャーまで搬送する際、見た目に大柄で体格の良い傷病者であったが、自分の体力を過信し、救急支援を実施せずにスクープストレッチャーを使用してメインストレッチャーまで搬送した。搬送時には付近民（近くに住む親戚二人）の協力があっても関わらず、帰署後、隊長と隊員の腰部に違和感と弱い痛みがあった。隊員への安全管理も当然であるが、搬送協力者にも細かい事故防止の配慮が必要であった。積極的に救急支援要請をしていれば、より安全に傷病者搬送が可能であったと考えられる。
4. 体験した事例の原因・理由	自分の体力を基準に考えてしまい、救急支援依頼を実施しなかった。

.....

1. 体験した事例の直接的な原因	状況判断に問題があった。行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------------------

.....

1. 発生日時	平成 19 年 6 月 1 日 午後 8 時頃
2. 発生した当時の天候	晴
3. 発生した活動現場	屋内：倒れていた風呂の脱衣場から屋外に設置しておいたストレッチャーまで
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	軽傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	腰痛、
7. 事例体験時の活動	救急、現場活動中期、 []
8. (7 の活動中) どのような作業中に発生したか	車両への収容、
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	これまでに 1 , 2 回程度体験している。

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者 A	年齢[43]歳、勤続年数[25]年、現場経験年数[20]年、階級[消防司令補]、同様の活動 [頻繁]、任務 []
○当事者 B	年齢[33]歳、勤続年数[15]年、現場経験年数[7]年、階級[副士長]、同様の活動 [頻繁]、任務 []
○当事者 C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、同様の活動 []、任務 []
その他 (当事者が 4 人以上の場合)	傷病者の搬送を手伝った傷病者宅付近に住む親戚 2 名

1 1 . 事例発生の経過。

.....

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	救急隊	現場到着	
経過 2	救急隊	現場で傷病者観察	
経過 3	当事者 A	大柄な傷病者であったが、搬送の際に自分の体力を過信し救急隊のみでの搬送が可能であると判断して救急支援を実施せずに搬送した	
経過 4	当事者 B	隊長の判断で搬送開始	
経過 5	傷病者の親戚 1	救急隊現場到着時に傷病者宅に来ており、傷病者が大柄である事から進んで搬送に協力してくれた	
経過 6	傷病者の親戚 2	救急隊現場到着時に傷病者宅に来ており、傷病者が大柄である事から進んで搬送に協力してくれた	
経過 7	当事者 A	帰署後に腰部に違和感と弱い痛みがあった	
経過 8	当事者 B	帰署後に腰部に違和感と弱い痛みがあった	
経過 9			
経過 10			

【その事例発生時の状況について】

- 事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？
ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

たまたま、負傷事故にならなかった。

- ### ○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならぬという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c . 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d . 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○ 装備・資機材について

e . 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○ 活動環境について

f . 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g . 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h . 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○ 指揮・管理について

i . 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k . 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○ その他

l . その他の理由があった。

いいえ

